



大磯小学校 学校だより

令和7年9月20日

【学校目標】 おだやかに 自ら学び 共に育つ

校長 成田 麻紀



9月に入っても非常に暑い日が続いていましたが、ようやく暑さも和らいできました。休み時間の遊び、体育の授業、下校が速やかに行えるのか…熱中症指数計と首つ引きの日々でした。久しぶりに指数も下がり、休み時間に元気よくグラウンドで遊ぶ子どもたちの姿を見て、本来なら当たり前の風景ではありますが、これが本来の景色だよな…と思うとともに、それを見ていただけることの幸を感じました。

保護者の皆様には、三週に一度、留め置きをする、解除して通常下校とする…と頻回にお知らせをすることとなり、大変ご心配とご迷惑をおかけしたと思います。また、実際に留め置きとした17日（水）は、多くの保護者の皆様が暑い中お迎えに来てくださり、大変感謝しております。ありがとうございました。体調を悪くありませんでしたでしょうか。こうしたことも、今年度についてはひとまず終わりかとは思いますが、次年度や災害時を含め、「こうしたときにはどうするか」ということを、ご家庭でもよく話し合っておいていただければと思います。今後とも、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



本日の授業参観は、お昼を挟んだにもかかわらず、大変多くの皆様にご参観いただき、重ねて感謝しております。多くの子どもが、朝のうちからやる気満々な様子で頼もしく思いました。巡回をしていて気になりましたのが、名札をしていらっしゃる保護者の方が多かったことです。名札の有無は、不審者であるかどうかの判別にも関わるものです。お手間ではあるかと思いますが、来校される際には、必ず他者からわかるように名札を着用していただきますよう、よろしくお願いいたします。



大分時間が経ってしまいましたが、夏休みのことです。終業式の日の帰り際に、「高来神社の例大祭で太鼓を叩くので見に来て下さい!!」と声をかけてくれた児童がいました。これは何が何でも行かなくては…と足を運びました。浜降りを最初から最後まで見ていましたが、大人に負けない声で木遣り歌を歌う児童、子ども神輿を担ぐ児童（高架下に入っていく際に私を見つけ、「校長先生だ!!」と疲れているだろうに口々に言う元気に驚きました）、そして山車で太鼓を叩く児童と、学校とは違う子どもたちの姿を垣間見ることができました。お父さんに肩車され、扇子を振ったり、手を動かしたりしている小さなお子さんも見かけました。こんなに小さなうちから、祭と共にあるのだな、と感心しました。地域の行事に密着している姿は素敵ですね。今後も子どもたちがたくさん地域とつながっていくことを願います。



夏休み中、たまたま立ち寄った神社に、「茅の輪」がありました。「茅の輪」を知ってはいましたが、厄落としとなる「茅の輪くぐり」をしたことがありませんでした。人もあまりいなかったので、挑戦してみました。短歌を口ずさみながら八の字に歩く。ただそれだけではありますが、直前にスマホを落とし、保護ガラスが割れたこともあり、きっと令和7年度前半の厄を落としたのだと思っています。令和7年度後半戦、良いものとなるよう、職員一同頑張ります。

